

第43回医療情報学連合大会 ランチョンセミナー 6

サイバーセキュリティ対策の 取り組み事例のご紹介



日時 2023年 11月 23日 (木・祝) 11:35~12:35

会場 F会場 (神戸ファッションマート9階・EX4-A+B)

医療機関における情報セキュリティについて

演者1 千々木 宏一 富士フイルムメディカル株式会社 サービス&サポート事業本部
事業推進部 企画グループ 兼 DX推進室

DACS ~情報セキュリティインシデントでの活用とBCP~

演者2 森藤 祐史 先生 大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター 医療情報部 診療情報管理室

当セミナーは整理券制です。

配布場所：1階・アトリウムプラザ内

配布時間：7時45分~11時 ※いずれも無くなり次第終了

※整理券はセミナー開始後、無効となります。

共催：第43回医療情報学連合大会／富士フイルムメディカル株式会社

講演 1 医療機関における情報セキュリティについて

富士フィルムメディカル株式会社 サービス&サポート事業本部 事業推進部 企画グループ 兼 DX推進室

千々木 宏一

近年、国内外の医療機関を標的としたサイバー攻撃による被害が増加しております。

攻撃は主にランサムウェアなどによるものであり、万が一感染してしまうと電子カルテやPACSなど医療機関にとって非常に重要な情報が暗号化され閲覧できない状態となり、診療業務に多大な影響を及ぼすと共に、個人情報を含む医療データの外部流出にも繋がりがねません。

また近年のサイバー攻撃では、企業・組織・医療機関などの業態や組織規模の大小などに限らず攻撃被害が拡大しており、無差別攻撃の様相を呈しております。そのため各組織におかれましてはサイバー攻撃対策が喫緊の課題となっております。

本講演では、フィッシング詐欺など日常でも注意が必要なものから、標的型攻撃など主に業務上で注意が必要な驚異と、医療機関でのサイバーセキュリティ対策を紹介いたします。その中で「気をつけるべきポイント」について勘所を押さえていただければ幸いです。

講演 2 DACS ～情報セキュリティインシデントでの活用とBCP～

大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター 医療情報部 診療情報管理室

森藤 祐史 先生

DACS(ダックス)とは「Document Archiving and Communication System」の略で、「診療記録文書統合管理システム」という。多様な作成方法を有する診療情報を文書単位で一元的に管理し、長期的な可用性の確保を目指すコンセプトである。データ単位ではなく、文書とメタデータの組合せを一単位とし、電子保存の3要件(真正性・見読性・保存性)を満たす。医療現場における情報システムの細分化が進んだことで、診療情報の一次利用の観点でDACSの必要性は増しているのではないかと。

コンセプトの目的は、情報の維持・継続・俯瞰的閲覧を目的にした考え方だが、非常時における事業の継続での活用も期待できる。文書形式の情報は表示に複雑な技術を要求されないため、HISネットワークの整備されていないエリアでの参照環境を展開も検討できる。実際に、2022/10/31に起こった大阪急性期・総合医療センターの情報セキュリティインシデントでは、発生直後から診療継続に活用できた。DACSを適切な方法で構築およびバックアップしておくことは有用である。